

平成 30 年度

丹沢大山ボランティアネットワーク
活動報告書

目 次

I 丹沢大山ボランティアネットワーク事業報告

- 1 丹沢大山水質調査報告
- 2 池の外来種駆除と生き物の観察

II 会員団体活動掲示板

神奈川県勤労者山岳連盟
横浜わらび山の会
NPO法人神奈川県自然保護協会
神ノ川ヒュッテ管理委員会
NPO法人北丹沢山岳センター
山綾会
NPO法人四十八瀬川自然村
NPO法人自然塾丹沢ドン会
丹沢けものみちネットワーク
丹沢ブナ党
西丹沢の自然にふれあう会
蛭ヶ岳山荘委員会
NPO法人みろく山の会
NPO法人野生動物救護獣医師協会神奈川支部
かながわ野生動物サポートネットワーク
町田グlaus山の会
NPO法人伊勢原森林里山研究会
NPO法人丹沢自然学校
NPO法人野生動物救護の会
湘南自然観察クラブ

III 世話人会の活動報告

I 事業報告

平成30年度水質調査結果一覧 <上段:検査項目 中段:単位 下段:水質基準(参考)>

調査地点	採水日	検査項目										水場周辺の状況			気象の状況			
		一般細菌 CFU/ml	大腸菌 100CFU/ml 以下	亜硝酸態窒素 mg/l 以下	硝酸態窒素及び 亜硝酸態窒素 mg/l 以下	塩化物イオン mg/l 以下	有機物 mg/l 以下	pH値	味	臭気	色度 度	濁度 度	ゴミ散乱	野外排泄	トイレ	水場種類	天候 当日	気温 ℃
1 半原越付近	5月6日	4	不検出	0.004未満	0.6	2.1	0.3未満	7.8	正常	1未満	0.5未満	なし	なし	なし	流水	晴れ	12	14
2 日向林道起点水場	5月13日	5	不検出	0.004未満	0.7	2.3	0.3未満	7.5	正常	1未満	0.5未満	なし	なし	なし	沢筋からの湧水	曇り	18	13.2
3 藤原屋敷跡	5月6日	0	不検出	0.004未満	0.7	1.5	0.3未満	7.8	正常	1未満	0.5未満	なし	なし	なし	湧水	晴れ	12	13
4 堂平沢	5月8日	80	検出	0.004未満	0.1未満	1.0	0.6	7.6	正常	2	0.5未満	なし	なし	なし	流水	曇り	8	10
5 原小屋平水場	5月22日	4	不検出	0.004未満	0.3	0.7	0.3未満	7.5	正常	1未満	0.5未満	なし	なし	なし	流水	晴れ	24	9
6 黍松山遊覧小屋	5月22日	0	不検出	0.004未満	0.6	1.2	0.3未満	7.5	正常	1未満	0.5未満	なし	なし	なし	流水、塩ビパイプ	晴れ	24	10
7 大山 弘法の水場	5月8日	0	不検出	0.004未満	0.5	2.4	0.3未満	7.6	正常	1未満	0.5未満	なし	なし	なし	流水	曇り	10	13
8 春嶽湧水	5月6日	2	不検出	0.004未満	0.6	2.0	0.3未満	7.7	正常	1未満	0.5未満	なし	なし	なし	湧水	晴れ	12	13
9 葛神の泉	5月5日	1	不検出	0.004未満	0.7	2.2	0.3未満	7.7	正常	1未満	0.5未満	なし	なし	なし	安全に採水できる状況	晴れ	24	14.5
10 龍神の泉	5月5日	0	不検出	0.004未満	0.6	2.4	0.3未満	7.9	正常	1未満	0.5未満	なし	なし	なし	採水用管	晴れ	24	14
11 後沢薬師水場	5月26日	2	不検出	0.004未満	0.3	1.9	0.3	7.7	正常	1未満	0.5未満	なし	なし	なし	湧水	晴れ	26	13
12 二俣の水場	5月26日	6	不検出	0.004未満	0.4	1.8	0.4	7.8	正常	1未満	0.5未満	なし	なし	なし	沢	晴れ時々曇り	22	15
13 大倉高原山の家水場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	湧水	曇りのち晴れ	-	-
14 塔ノ岳水場	5月26日	0	不検出	0.004未満	0.1未満	1.1	0.3未満	7.3	正常	1未満	0.5未満	なし	なし	あり	湧水	晴れ曇り	26	15
15 皆瀬川入道	4月28日	80	検出	0.004未満	0.7	2.9	0.4	7.9	-	1	0.5未満	少しあり	なし	なし	流水	晴れ	22	15
16 西丹沢県民の森	5月12日	0	不検出	0.004未満	0.5	1.3	0.3	7.6	正常	1未満	0.5未満	なし	なし	あり	沢から引いて蛇口	曇り時々晴れ	18.2	12.5
17 仲ノ沢法面湧水	5月12日	0	不検出	0.004未満	0.5	1.3	0.3	8.0	正常	1未満	0.5未満	なし	なし	なし	沢水、法面にパイプ	晴れ	16.5	13.5
18 用木沢出合	5月13日	4	検出	0.004未満	0.3	1.0	0.6	7.6	-	1	0.5未満	なし	なし	なし	沢	曇り	14.1	12
19 一軒屋遊覧小屋前水場	5月13日	4	検出	0.004未満	0.2	1.0	0.6	7.5	-	1未満	0.5未満	少しあり	なし	なし	なし	曇り	13	12
20 犬越路すい道水場	6月1日	1	不検出	0.004未満	0.1	1.1	0.3未満	7.8	正常	1未満	0.5未満	なし	なし	なし	流水、塩ビパイプ	曇り	25	12
21 犬越路 日陰沢	6月1日	2	不検出	0.004未満	0.3	1.0	0.3未満	7.5	正常	1未満	0.5未満	なし	なし	なし	蛇口	曇り	23	13
22 エビ沢出合	6月1日	4	検出	0.004未満	0.3	0.9	0.3未満	7.9	-	1未満	0.5未満	なし	なし	なし	流水、塩ビパイプ	曇り	24	14

※大腸菌が検出されたため、味の検査は不可

丹沢ボラネット瓦版

2019年3月号 No.103



「氷瀑」西丹沢 本棚沢 本棚の滝 2018.1.26

池の外来種駆除と生き物の観察会 報告



自然環境保全センター野外施設池の外来生物を駆除しました！

★実施要項

- 1 主催 丹沢大山ボランティアネットワーク
- 2 日時 平成30年10月21日(日) 10:00～13:00
- 3 場所 神奈川県自然環境保全センター自然観察園 池3
- 4 目的 ①一般参加を募集して、保全活動への神奈川県民の理解や参加を促す。
②外来種駆除活動の中で環境意識の向上を図る。
- 5 指導者 自然環境保全センター 自然保護課 田中

6 当日の日程

- 9:45 受付開始
レクチャールーム前
- 10:00 開会 挨拶、
講義(田中) アメリカ
ザリガニと観察園の変化等
- 10:45～12:00
駆除活動・採集
分類 記録写真
池の周辺で水生生物学習会(指導者 田中、その他)
- 12:15 閉会 アンケート記入 今日のふりかえり
あいさつ 解散



↑写真 作業準備をして観察池へ出発



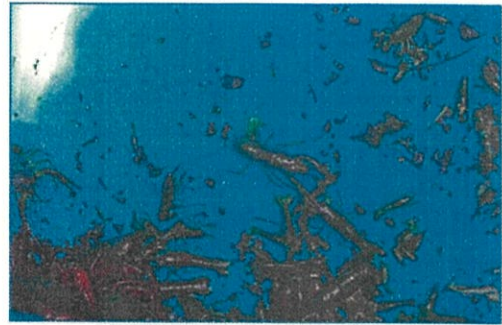
↑写真 深い泥沼での困難な採集



↑写真 比較的浅い泥沼 採集が進む

- 7 参加者 丹沢大山ボランティアネットワーク等 スタッフ 会員
募集参加の県民

自然観察園内「池3」を主に
環境保全センター自然観察園池3などの
水生生物の捕獲調査をおこなった。
アメリカザリガニ、ブルーギルなど
外来種駆除を行う。



↑写真 採集したアメリカザリガニ

日程表

前日まで 池の水抜き
スタッフ会議 当日の準備
当日 10月21日(日) 一般県民参加のもと実行

★採集した水生生物

ザリガニ	150
メダカ	100
ヌカエビ	50
ヨシノボリ	33
シオカラまたは オオシオカラトンボのヤゴ	32
ブルーギル	27
モツゴ	16
カワニナ	13
センプリの仲間	9
マツモムシ	4
ゲンゴロウの仲間 (ヒメゲンゴロウ)	2
ミズカマキリ	1
コシアキトンボ (ヤゴ)	1
ヤマサナエ (ヤゴ)	1
コヤマトンボ (ヤゴ)	1
ツチガエル	1
ヘビトンボ	1
コオイムシ	1
タニシ	1
ホトケドジョウ	1

今回は今年二回目の外来種駆除行事です。前回（平成30年3月18日）はボラネット内の交流会を含めた行事であった。が今回は応募形式の神奈川県民に開かれた環境保護、環境啓発事業であり、内容は同じだが参加者、目的などが大きく変化しました。

初めての県民参加の事業なので、未だ認知が行き届いてなく参加者が予定より少なかったです。

参加体制に関しては次年度の課題とします。それでも元気の良い小中学生が参加し、積極的に活動し事業を盛り上げました。

予想していたよりも大勢の皆様方の参加がありました。関係の皆様感謝します。

写真→並べられた採集水生生物
今回は小さな個体が多く採れた。

センター指導者の田中様の入池の方法や捕獲方法を指導受けて、楽しみにしていた生物捕獲作業に一斉に入りました。

泥が深く歩くのが大変です。反対に水の有る場所が意外に歩きやすいです。

胴長を初めてつけて入池しました。

泥が深く、歩くだけで精一杯で採集どころ

ではありません。また採集しても岸に手渡すのも大変で時間がかかります。

水生生物の捕獲作業は深い泥との格闘で本当に大変な作業です。泥だらけになって

しまいました。それでありながら本当に楽しかったです。

来年も参加出来たら良いです。

写真→参加者の皆様も魚類の説明する様子



★ま と め

自然環境保全センター池での外来種駆除活動は今回で六回目になります。採集した水生生物はだいぶ小型化しています。その上採集数も年々減ってきました。

効果が現れています。しかしここで油断して三～四年活動を休止すると元の状態に戻るのが速いです。

完全に駆除が出来ないので駆除活動の効果や意義に重きおかない人がいます。しかし大きな固体は駆除され小型化し、その間に貴重な日本在来種が復活、増加をしています。

地道に事業を継続していくことが、水生生物の環境保護には大切です。

来年度以後も県民参加のもとで、この事業を続けていきたいです。駆除活動の中でボランティア活動へ参加する若者達を増やしたいです。

事業参加の皆様、スタッフの皆様お疲れ様でした。



↑写真 泥水中で駆除活動の中学生

平成30年度 丹沢 大山水質調査の報告

写真 →
水を育む
塔の岳を中心
にした雄大な
丹沢の山々風景



22カ所の水質調査を行いました。

★ 大腸菌が5カ所より検出されました。

★ 一般細菌が基準値以上の所はありません

質問 丹沢で沢水、湧水を飲んで良いですか？

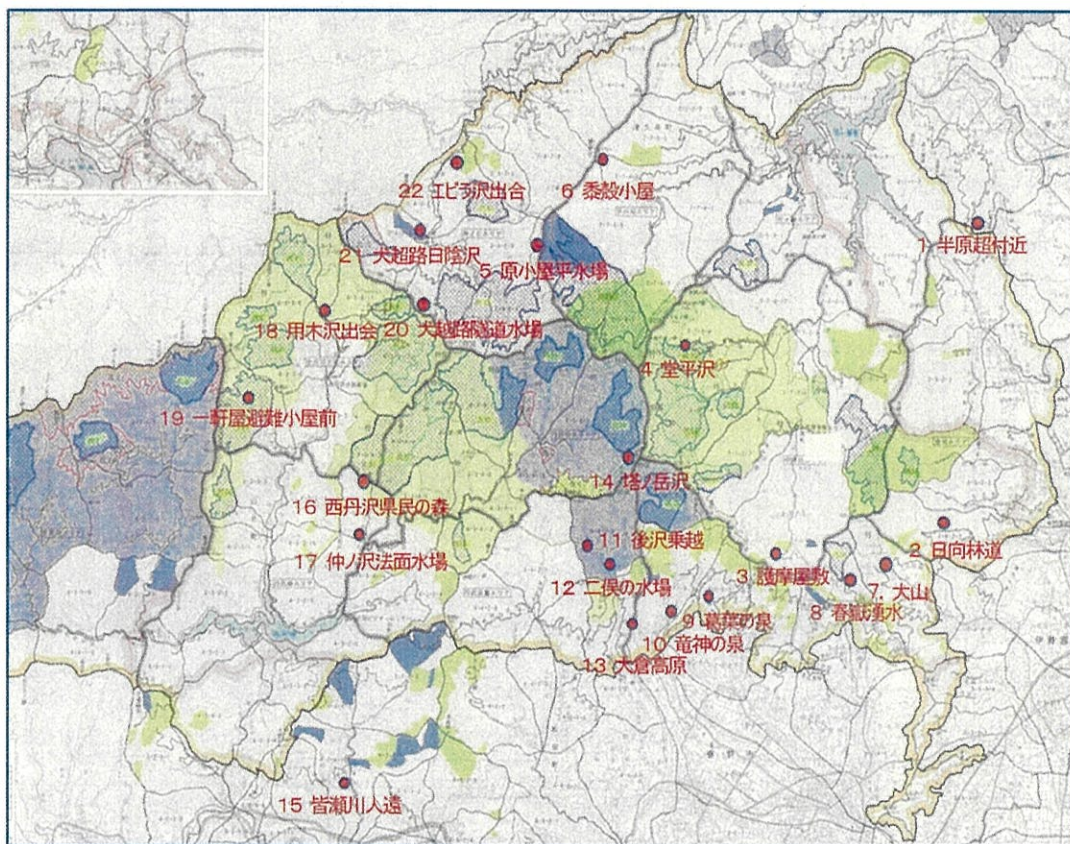
・検出場所……飲んではいけません。

・不検出場所……その場で飲む事は、お勧めできません。

・検出 不検出 場所に関係なく、

必ず「煮沸」などをしてからお飲みください。

★水質調査場所の案内図



★水質調査の結果報告と考察

調査項目 結果一覧表にあるように10項目にわたり調査をしました。その中で今回、検出されている重要な一般細菌や大腸菌について考えてみましょう。

平成30年度水質調査結果一覧 <上段:検査項目 中段:単位 下段:水質基準(参考)>

調査地点	採水日	初期検査項目										水場周辺の状況		気象の状況			
		一般細菌 CFU/100ml 以下	大腸菌 mg/l 以下	亜硫酸塩 mg/l 以下	亜硝酸塩 mg/l 以下	硝酸イオン mg/l 以下	有機物 mg/l 以下	pH値	味	臭気	色度 度	濁度 度	水場周辺 状況	水場周辺 状況	天候 当日	気温 前日	水温 ℃
1 半原路付近	5月6日	0	不検出	0.004未満	0.6	2.1	0.3未満	7.8	正常	正常	1未満	0.5未満	なし	なし	晴れ	12	14
2 日向林道起点水場	5月13日	0	不検出	0.004未満	0.7	2.3	0.3未満	7.5	正常	正常	1未満	0.5未満	なし	なし	曇り	18	13.2
3 湯川原水場	5月6日	0	不検出	0.004未満	0.7	1.5	0.3未満	7.8	正常	正常	1未満	0.5未満	なし	なし	晴れ	12	13
4 登平沢	5月8日	80	検出	0.004未満	0.1未満	1.0	0.6	7.6	-	正常	2	0.5未満	なし	なし	曇り	8	10
5 陸小屋平水場	5月22日	4	不検出	0.004未満	0.3	0.7	0.3未満	7.5	正常	正常	1未満	0.5未満	なし	なし	晴れ	24	9
6 栗原山麓野小庄	5月22日	0	不検出	0.004未満	0.6	1.2	0.3未満	7.5	正常	正常	1未満	0.5未満	なし	なし	晴れ	24	10
7 大山 急法の水場	5月8日	0	不検出	0.004未満	0.5	2.4	0.3未満	7.6	正常	正常	1未満	0.5未満	なし	なし	曇り	10	13
8 森池湧水	5月6日	2	不検出	0.004未満	0.6	2.0	0.3未満	7.7	正常	正常	1未満	0.5未満	なし	なし	晴れ	12	13
9 藪栗の泉	5月5日	1	不検出	0.004未満	0.7	2.2	0.3未満	7.7	正常	正常	1未満	0.5未満	なし	なし	晴れ	24	14.5
10 竜神の泉	5月5日	0	不検出	0.004未満	0.6	2.4	0.3未満	7.9	正常	正常	1未満	0.5未満	なし	なし	晴れ	24	14
11 後沢湧水	5月26日	2	不検出	0.004未満	0.3	1.9	0.3	7.7	正常	正常	1未満	0.5未満	なし	なし	晴れ	26	13
12 二俣の水場	5月26日	6	不検出	0.004未満	0.4	1.8	0.4	7.8	正常	正常	1未満	0.5未満	なし	なし	晴れ	22	15
13 大倉高野山の湧水場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
14 塔ノ岳水場	5月26日	0	不検出	0.004未満	0.1未満	1.1	0.3未満	7.3	正常	正常	1未満	0.5未満	なし	なし	晴れ	26	15
15 萩瀬川入道	4月28日	80	検出	0.004未満	0.7	2.9	0.4	7.9	-	正常	1	0.5未満	なし	なし	曇り	22	15
16 西戸沢親氏の森	5月12日	0	不検出	0.004未満	0.5	1.3	0.3	7.6	正常	正常	1未満	0.5未満	なし	なし	晴れ	18.2	12.5
17 舟ノ沢湧水	5月12日	0	不検出	0.004未満	0.5	1.3	0.3	8.0	正常	正常	1未満	0.5未満	なし	なし	晴れ	16.5	13.5
18 用木沢出水	5月13日	4	検出	0.004未満	0.3	1.0	0.6	7.6	-	正常	1	0.5未満	なし	なし	曇り	14.1	12
19 一軒屋遊藝小屋前水場	5月13日	4	検出	0.004未満	0.2	1.0	0.6	7.5	-	正常	1未満	0.5未満	なし	なし	曇り	13	12
20 火通路すい湧水場	6月1日	1	不検出	0.004未満	0.1	1.1	0.3未満	7.8	正常	正常	1未満	0.5未満	なし	なし	曇り	25	12
21 大庭野 白滝沢	6月1日	2	不検出	0.004未満	0.3	1.0	0.3未満	7.5	正常	正常	1未満	0.5未満	なし	なし	曇り	23	13
22 エビノ沢出水	6月1日	4	検出	0.004未満	0.3	0.9	0.3未満	7.9	-	正常	1未満	0.5未満	なし	なし	曇り	24	14

最初に検出基準などについて説明します。

(a) 一般細菌について。(2013年度より調査資料あり)

- ・基準は100 CFU/mlです。CFUは増殖したコロニー(集落)の数
- ・細菌に汚染された水ほど、数値が高くなります。すなわち培養すると、たくさんのコロニー(群落)がつくられ増殖が盛んに行われます。

(b) 大腸菌について

- ・基準は検出されないことです。
- ・沢水等が野生動物の糞尿や土壌生物などで、汚染されているときに検出されます。

(c) 大腸菌調査結果の説明

- ・今回の調査で大腸菌が5カ所で検出されました！

4 堂平沢 15 皆瀬川 人遠 18 用木沢出合
19 一軒屋避難小屋前水場、 22 エビラ沢出合
昨年度の7カ所から5カ所に減りました。

(d) 一般細菌について

- ・今回の調査で基準値(100 CFU/ml)以上検出された水場はありません。前回は三カ所から検出されました。

念のため前回29年度の結果を載せます。参考にしてください。

12 二俣の水場 130 (CFU/ml)
18 用木沢出合 700 (CFU/ml)
19 一軒家避難小屋前水場 320 (CFU/ml)

どんな細菌が含まれているかわからないので絶対に生水で飲んではいけません。



↑写真 塔ノ岳水場 「不動の水場」 ↑写真 不動の水を汲んでいる

塔ノ岳山頂からユーシン 玄倉(西の方)方面へ斜面を15分下ると不動の水場があります。昭和40年代には、このような立派な碑もパイプもなく、ただ

沢水が少し溜まりチョロチョロと流れていた。真夏に疲れた体に鞭を打ち下り、やっとたどり着き、夢中で水を飲んだことが思い出される。

(e) 一般細菌調査結果の説明

4 堂平沢 80 (CFU/ml)

15 皆瀬川人遠 80 (CFU/ml)

以上2カ所は基準値100 (CFU/ml)に近く、比較的量が多いです。

一般細菌は基準以下だが検出された箇所は14カ所にも上りました。

基準以下と考えて飲むのに安心できる湧水、沢水でしょうか？

この値は、細菌が含まれているので、水を持って帰り、常温の場所に、ある程度の時間をおいたりすると細菌が増殖することを意味しています。



↑写真 西丹沢県民の森 水質調査中 (丹沢自然学校) 冷蔵庫に入れて置いても、ゆっくりだが増殖をします。

一般細菌は適温なら数日もたたないうちに基準値を超えて増殖します！

答 安心できません！！

★今回の水質調査の特徴

前回、前々回の調査と比較して、大腸菌検出箇所が二年連続減りました。

一般細菌は、今年度は基準値を超えた場所はなかったです。

基準値に近い80 (CFU/ml) 場所が2カ所あったのが大きな特徴です。

この原因についても考えていきたいと思います。

一般細菌と大腸菌の検出は有意な関係があります。大腸菌が検出された水場から常に一般細菌も検出されています。

★それでは、丹沢訪問者、登山者は、沢水や湧水を飲んでよいのだろうか？

- ・大腸菌の検出された水場では飲んではいけません。

今回は検出されない場所でも、調査時だけの可能性も大であります。

季節や天候、気温等により変化します。また雨などで周囲の土壌、落ち葉、シカなど動物の糞尿から、大腸菌などが流入することがあります。

その中には、検査項目以外の有害物も含まれている可能性もあります。そのまま飲むことは大変に危険です。

- ・必ず煮沸、沸騰させ飲んでください。

県民の皆様、この調査結果を丹沢での野外活動にお役に立ててください。

平成 30 年度ボランティアネットワーク各団体の行事予定

●西丹沢の自然にふれあう会



2018 年 12 月例会 B 班 シダンゴ山

◆ 月例清掃登山

「西丹沢の自然にふれあう会」では毎月、清掃登山を行っています。

軽いハイキングができる方、どなたでも参加大歓迎です。

4、5月の予定は、次のとおりです。集合の後、仲間の車に分乗して目的地に向かいます。参加費は一回千円です。

詳細はお問い合わせ下さい。

mnumano@jcom.home.ne.jp 沼野正睦

月 日	行先	集合
4/27 (土)	A:畦ヶ丸 B:下棚・本棚	8時・渋沢駅南口
5/25 (土)	きらら駐車場→平野→切通峠→鉄砲木の頭→パノラマ台→きらら駐車場	8時・渋沢駅南口

●NPO北丹沢山岳センター

- ・国道20号線クリーン活動

4月7日(日) AM10:00~12:00 吉野花だまり 現地集合・解散

- ・北丹沢 神ノ川流域山開き・林道清掃活動

4月14日(日) AM8:30~式典 折花神社集合~林道清掃


主催 NPO北丹沢山岳センター・藤野町山岳協会・藤野山岳会
連絡先 TEL 042-687-4011 FAX 042-687-3980

丹沢ボラネット瓦版2019年3月号(通巻103号)3月7日発行

丹沢 大山ボランティアネットワーク世話人会代表 小林 昭五

Ⅱ 会員団体活動掲示板

団体名称	神奈川県勤労者山岳連盟
	<p>国民の登山要求の高まりの中で、「安く、楽しく、安全に」を合言葉に1968年に結成し、半世紀を越えた。登山が自然をフィールドとするスポーツである以上、常に自然との共存共生や遭難事故防止の課題を伴っている。私たちは自らの登山技術や知識を高め、仲間を迎え入れ、登山活動の一層の充実と発展を図る。また、自然保護委員会を設立し、丹沢をはじめとする自然保護活動にも力を尽くしている。</p> <p>【設立年月日】1968年</p>
団体情報	<p>【代表者】渡辺 三男</p> <p>【会員数】623名</p> <p>【ホームページ】http://www.k-rouzan.net/</p>
活動内容	<p>2018年活動報告</p> <p>月1回の自然保護委員会を開き、活動の相談をする。</p> <p>主な活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「第41回「2018年丹沢クリーンハイク」実施 <p>1月～5月…クリーンハイク実行委員会（月1回又は2回）</p> <p>5月26日…丹沢大山水系水質調査用の採水、クリーンハイク前夜祭参加</p> <p>5月27日…丹沢大山クリーンハイク・登山道整備実施</p> <p>12月1日…瀬上自然の森観察会実施（有志参加）</p> <ul style="list-style-type: none"> ●自然観察会、全国自然保護集会、関東ブロック自然保護担当者会議、自然保護講演会などへの参加を積極的に行っている。 <p>9月1・2日…関東ブロック自然保護交流集会（茨城県連主催）</p> <p>11月23日・24日…全国自然担当者会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ●被災地石巻市民植樹活動(第8回)、福島子ども達の保養プロジェクト(第5回)の実施などボランティア活動に持続して取り組んでいる。 <p>5月12日～14日…東日本大震災石巻ボランティア、福島被災地現地視察</p> <p>7月30日～8月1日…福島子ども保養Pを三浦海岸で実施。</p> <p>11月10日～12日…東日本大震災石巻ボランティア、福島被災地視察</p>
連絡先	<p>【担当者】</p> <p>【住所】〒221-0833 横浜市神奈川区西神奈川1-18-2 永田ビル3階</p> <p>【電話】045-434-2726</p> <p>【FAX】 同上</p> <p>【メール】http://www.k-rouzan.net/</p>

団体名称	横浜わらび山の会
設立目的	<p>自然を通じて会員相互の親睦をはかり、「生涯登山」を合言葉に楽しい山歩きやハイキングを目的としています。日帰り山行は元より、夏の山行、街中ハイキングから神社、仏閣巡り、温泉、花巡り、また清掃登山や障害者登山への積極的参加などを通して、自然を愛し、自然保護に力を入れ、自然と親しみながら、「和やかに」「楽しく」「美しく」、いつまでも元気でいられるよう行動しています。会名「わらび」は、理念のなかの「和やかに」「楽しく」「美しく」の和・楽・美を合わせて「わらび」と命名しました。</p> <p>【設立年月日】1990年3月</p>
団体情報	<p>【代表者】田内道子</p> <p>【会員数】34名（2018年12月1日現在）</p> <p>【ホームページ】http://warabi.la.coocon.jp/</p>
	<p>11月18日</p> <p>"丹沢のみどりを育む集い、主催のウラジロモミ防護ネット補修 当会から5名参加（場所：堂平、天王寺尾根エリア）</p> 
連絡先	<p>【担当者】長谷川 隆</p> <p>【住所】</p> <p>【電話】</p> <p>【FAX】</p> <p>【メール】</p>

団体名称	NPO 法人神奈川県自然保護協会
設立目的	神奈川県の自然の保護及び神奈川県民の自然保護意識の向上に寄与すること 【設立年月日】1965年10月1日、2004年6月1日（NPO法人格取得）
団体情報	【代表者】藤崎英輔 【会員数】150（個人・団体） 【ホームページ】 http://www.eco-kana.org
活動内容	<p>(1) 自然保護に関する普及啓発事業</p> <p>ア シンポジウム・講演会開催事業 講演会(2019/2/9) 生態系の再生 ～失われた未来を取り戻すために～ 会場 アミュールあつぎ 講師 羽山伸一氏</p> <p>イ 自然観察会 生物多様性ホットスポット観察会 ①6/9 江の島 ②10/14 あつぎこどもの森公園</p> <p>ウ 厚木市生物多様性地域戦略事業協働 外来生物啓発 兼川の生物多様性観察 善明川水辺の生き物架検隊 8/1</p> <p>エ 学校の行う環境教育支援 厚木市立愛甲小学校ほか</p> <p>オ 厚木市水辺ふれあい事業 10/16 善明川</p> <p>(2) 広報・刊行事業</p> <p>ア 情報紙発行事業 情報紙「ニュースレター」発行</p> <p>イ ホームページの運営</p> <p>ウ 啓発ブース出展 さとやま水族館と外来生物啓発 横浜公園(5/26,27) かながわエコ10フェスタで 藤沢市 藤沢自然と親しむ会イベント 辻堂テラスモール(10/15)</p> <p>(3) 他の団体等との協働・連携や支援に係わる活動</p> <p>ア さがみ自然フォーラム開催(2/7-11) 会場 アミュールあつぎ アートギャラリー他 厚木市共催 企画展「生態系の再生」 自然保護団体ポスター展示 発表による交流 25団体参加 講演会 生態系の再生 ～失われた未来を取り戻すために～ 学校環境活動発表 (展示及び会場発表) 大学・高校生の研究発表 (展示及び会場発表)</p> <p>イ 他団体等行事の後援 江の島モース祭 藤沢自然と親しむ会</p> <p>(4) 県内自然の諸問題に対する調査・研究 ・外来生物リスト作成</p> <p>(5) 行政への動きかけ・協働 神奈川県環境審議会委員派遣 水循環環境保全再生県民会議委員 丹沢大山保全再生委員会委員他</p>
連絡先	<p>【担当者】青砥航次</p> <p>【住所】厚木市林 5-15-10</p> <p>【電話】</p> <p>【FAX】</p> <p>【メール】nacs-kana-office01@eco-kana.org</p>

行事のようす



横浜公園 さとやま水族館



ホットスポット自然観察会① 江の島



ホットスポット自然観察会② あつぎこどもの森公園



善明川水辺の生き物探検隊



第18回さがみ自然フォーラム展示



第18回さがみ自然フォーラム講演会

団体名称	神ノ川ヒュッテ管理委員会
設立目的	<p>山岳愛好者を中心とする一般公衆に対して、北丹沢地域の山岳活動に関する事業を行い、もって環境保護・スポーツ振興・災害救助に寄与することを目的とする。</p> <p>自然保護活動（広河原植林事業、東海自然歩道監視、整備等）の基地及び山岳スポーツ（トレイルレース）の基地として活動している。</p> <p>【設立年月日】 1993年 4月 1日</p>
団体情報	<p>【代表者】 杉本 憲昭</p> <p>【会員数】 70名</p> <p>【ホームページ】 http://kitatan.com/kantop</p>
活動内容	<p>4月15日 丹沢神の川流域山開き折花姫神社・本祭行事 東海自然歩道・日陰沢新道のゴミの収集活動</p> <p>6月17日 国道20号線クリーン活動</p> <p>6月 東海道自然歩道コース整備・清掃活動</p> <p>7月 8日 北丹沢12H山岳耐久レースの協力・第一関門及び第二関門 日陰沢新道の整備活動</p> <p>8月 1日 神の川周辺登山道清掃及び点検活動 ～31日 広河原での植林活動</p> <p>11月17日 神ノ川ヒュッテ周辺の清掃活動</p> <p>活動場所 北丹沢山城（特に神の川、広河原、鐘撞山を中心とした地域）</p> <p>神の川ヒュッテ友の会会長 加藤 博恵</p>
連絡先	<p>【担当者】 杉本 憲昭</p> <p>【住所】 相模原市緑区小淵1545-1</p> <p>【電話】 042-687-4011</p> <p>【FAX】 042-687-3980</p> <p>【メール】 kitatanzawa@kib.biglobe.ne.jp</p>

団体名称	NPO法人北丹沢山岳センター
設立目的	<p>藤野町牧野財産管理会の委託を受け、健全なヒュッテの経営を行う。 山岳愛好者を中心とする一般公衆に対して、北丹沢地域の山岳活動に関する事業を行い、もって環境保護・スポーツ振興・災害救助に寄与することを目的とする。</p> <p>【設立年月日】 2003年 4月 11日</p>
団体情報	<p>【代表者】 杉本 憲昭</p> <p>【会員数】 運営委員会30名 10団体250名</p> <p>【ホームページ】 http://kitatan.com/</p>
活動内容	<p>4月 8日 国道20号線クリーン活動 4月15日 北丹沢神の川流域山開き・折花姫神社での本祭行事 6月17日 国道20号線クリーン活動 7月 8日 北丹沢12時間山岳耐久レースへの協力 8月 神の川周辺登山道の清掃・点検活動 11月 4日 陣馬山トレイルレースへの協力・陣馬山清掃活動 10月14日 国道20号線クリーン活動 11月17日 神ノ川ヒュッテ周辺の清掃活動</p> <p>長年の自然保護活動に対し、杉本理事長が平成29年秋の緑綬褒章を受章する</p> <p>活動場所 北丹沢山城、陣馬山城 (特に神の川、広河原、蛭ヶ岳、姫次を中心とした地域)</p>
連絡先	<p>【担当者】 杉本 憲昭</p> <p>【住 所】 相模原市緑区小淵1545-1</p> <p>【電 話】 042-687-4011</p> <p>【FAX】 042-687-3980</p> <p>【メール】 kitatanzawa@kib.biglobe.ne.jp</p>

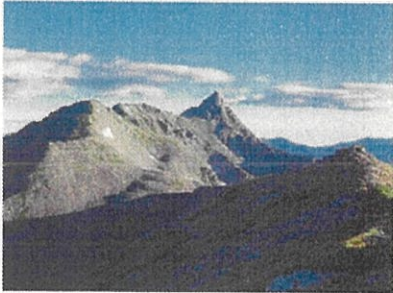

団体名称	山綾会
設立目的	<p>「生涯登山」を合言葉に、中高年の健全な登山、ハイキングを行うことにより、会員の健康増進と相互の親睦を図ることを目的としています。</p> <p>【設立年月日】平成4年10月1日</p>
団体情報	<p>【代表者】彦坂 弘明</p> <p>【会員数】57名（平成31年1月27日現在） 男性17名、女子40名</p> <p>【ホームページ】http://sanryokai1992.wed.fc2.com</p>
活動内容	<p>平成30年度活動は58回の山行計画に対して天候不良などによる中止が14回と多く、実施は44回、延べ参加人数は604名となっています。</p> <p>その中で特筆すべきは、8月20日から23日にかけて3泊4日で行われた槍ヶ岳山行があります。天候に恵まれて参加者9名の全員が槍の穂先に登頂することが出来ました(写真1及び2)。</p> <p>クリーンピア活動は11月5日に大山清掃登山として、昨年と同様に会員のレベルに合わせ3コース（ヤビツ峠コース、見晴台コース、蓑毛コース）にて実施しました(参加者22名、写真3及び4)。又、「市民登山講座の実践」として10月20日に弘法山ハイキングを行い14名の参加が得られています。</p> <p>11月24日から28日に開催された綾瀬市民文化展の写真部門に、山綾会の会員15名が出展しました。5日間の来場者は757人と大変盛況でした(出展作品例、写真5)。</p> <p>昨年度は山綾会において登山中に2件の事故が発生した為に、平成30年度はより一層の安全・安心登山を目指して、啓発活動を実施しました。その結果本年は無事故・無災害を達成することが出来ました。</p> <p>又、ここ数年、新たに山綾会に入会する人よりも会員の高齢化による退会者が多く、会員数が減少しています。ホームページや綾瀬市広報紙を通じて会員の募集を呼びかけ、今後も会の発展と生涯登山をめざしていきます。</p> <p style="text-align: right;">以上</p> <div style="text-align: center;">  <p>写真 1 槍ヶ岳（南岳からの稜線にて）</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>写真 2 槍ヶ岳山頂</p> </div>



写真 3 大山清掃登山(ヤビツ峠での清掃活動)



写真 4 大山清掃登山(大山 下社にて)

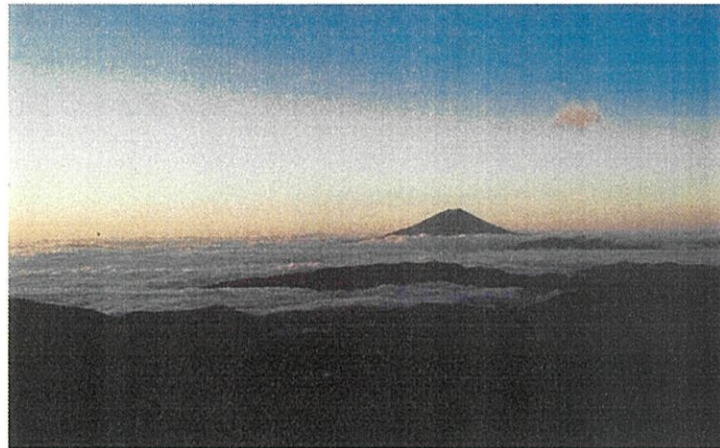


写真 5 浮浪雲 (北岳山荘より東南方向)

連絡先	【担当者】 近藤龍吉
	【住所】
	【電話】
	【FAX】
	【メール】

団体名称	NPO 法人四十八瀬川自然村
設立目的	四十八瀬川流域の原風景と、ホタルの棲める環境をまもる。 【設立年月日】 2001年9月 秦野市民15名で「四十八瀬川自然村」を設立。 2007年5月 NPO 法人認可、登録
団体情報	【代表者】 【会員数】 村民75名(男性59名・女性16名)・高齢者多数 【ホームページ】 48se-mura.com
活動内容	豊かな里山の自然環境を後世に引き継ぐため、荒廃化した水田・農地・里山の整備にと活動を続ける。又河川活動では県の絶滅危惧種の「カジカ」の定点調査やホタル生息地の整備等に取り組んでいる。ホタル鑑賞会や、各イベントに参加普及啓発に努めている。ほか酒米の栽培から振舞い酒を行う(秦野どぶろく祭り)を毎年行っている。
連絡先	【担当者】 小野 均 【住所】 【電話】 【FAX】 【メール】 hi_ono@hotmail.co.jp

団体名称	NPO法人自然塾丹沢ドン会
設立目的	丹沢及び山麓の豊かな自然、風土、文化の変容に対して、「登山道等の補修」「伝統風景の保全」「風土が育んだ文化、伝統、芸術の保全」等の事業を、山麓に暮らす人たちとともにを行い、もって健全な社会資産の形成、公益の増進に寄与することを目的とする。【設立年月日】1992年3月(NPO法人認証 2001年9月11日)
団体情報	【代表者】片桐 務 【会員数】130家族 【ホームページ】 http://www.donkai.com/
活動内容	<p>里地・里山は、かつて人の手が入り、活用・管理されて風景を保ち、生物の多様性も維持できていました。しかし、エネルギー革命・高度成長・人びとのライフスタイルの変化とともに、価値を見出すことができなくなった里地・里山では、農家の足音が聞こえなくなり、自然の循環が途絶えました。</p> <p>丹沢ドン会では、毎年参加者を募集している「丹沢自然塾」の開催により、農家に代わって丹沢の麓と都市を結び、人海戦術で棚田の復元活動に取り組んでいます。自然に癒され、仲間づくりをする参加者は、丹沢ドン会のフィールドである秦野市名古屋の棚田や羽根の里山で、それぞれの居場所を見出し、安全・安心な食べものづくりを通して生きる源である「食」を考え、小さな地域経済を起こし、人間の都合を少し控えた活動を継続しながら、生物の多様性の実現を図っています。そして、生物の多様性を支えるのは、地域と都市をむすび、さまざまな担い手である人間の多様性であることを肝に実感しています。身近な自然である里地・里山を復元・保全して伝統的な農村風景を再生し、次の世代へ伝えたいと思います。</p> <p>丹沢ドン会は、創立25周年を記念して、保全生態学の泰斗・東京大学名誉教授の鷲谷いづみさん、名古屋の水生物の調査を10数年にわたり継続している東海大学自然環境課程教授の北野忠さんを迎えて、生物多様性緑陰フォーラム in 名古屋「さとやまと生物多様性のいま」を2016年10月に名古屋の復元棚田で開催。その成果を踏まえ、2017年4月から、丹沢ドン会と東海大学自然環境課程・慶應大学一ノ瀬研究室との協働による「名古屋の自然総合調査」をスタート。2018年6月9日に1年次の中間報告会を慶應大学一ノ瀬研究室により開催。水生生物・水・土壌・植物・哺乳類・昆虫・鳥などについて3か年の継続調査の2年目を実施。その成果を、里地・里山の生物多様性の保全・再生に生かし、里地・里山の管理手法や生物多様性の現状を明らかにしたいと思います。</p> <p>2018年度の「丹沢自然塾」は、4月の開講オリエンテーション・棚田の種まき教室に始まり、田植え・稲刈りなどの米づくり、そばの種まきから始める新そば手打ち体験教室などの安全・安心な食べものづくりを軸として展開しました。その他にも田んぼの生き物観察、里山ウォーキング、里山管理教室など合計10のカリキュラムで、都市の市民と丹沢山ろくを結ぶ活動を展開しました。</p> <p>今年度は、次世代への伝統的な農村風景を伝えるために人材育成の一環として第2回「丹沢こども自然塾」を企画しましたが、台風による風雨の影響で中止。一方で、相模原の児童指導員グループによる子どもたちの自然観察会を、東海大学の北野忠教授の指導で開催し、名古屋の自然の豊かさを体験してもらいました。</p>